

産経新聞 2019年12月24日

ベストセラー医師による、 初の本格医療小説!

東京オリンピックが終わり、疲弊してゆく我が国で、
病を抱え、死を願う男と女が、国家の罠に落ちていく……。

2024年、日本で 「安楽死法案」可決!?

国家は、安楽死法案を通そうと目論んでいますよ。
社会保障費で国が潰れそうだからです。
それならば、長生きしたくない人に早く死んで
もらったほうがいい、そう考えています。(本文より)

死にたい、と願うのはエゴですか?
生きていて、と望むのは愛ですか?

本体1400円+税

長尾和宏
Nagao Kazuhiro

安楽死特区

小説